



『いのちのまつり』
作：草場一壽
(陶彩画家／武雄市山内町)

●弓削田健介PC用メインサイト
<http://yugemusic.com/index.htm>
●携帯でも見れるゆげ日記アドレス
<http://yugemusic.jugem.jp/>

さがに生きている 子どもたちの心に残る合唱曲を作りたい

VOL.158

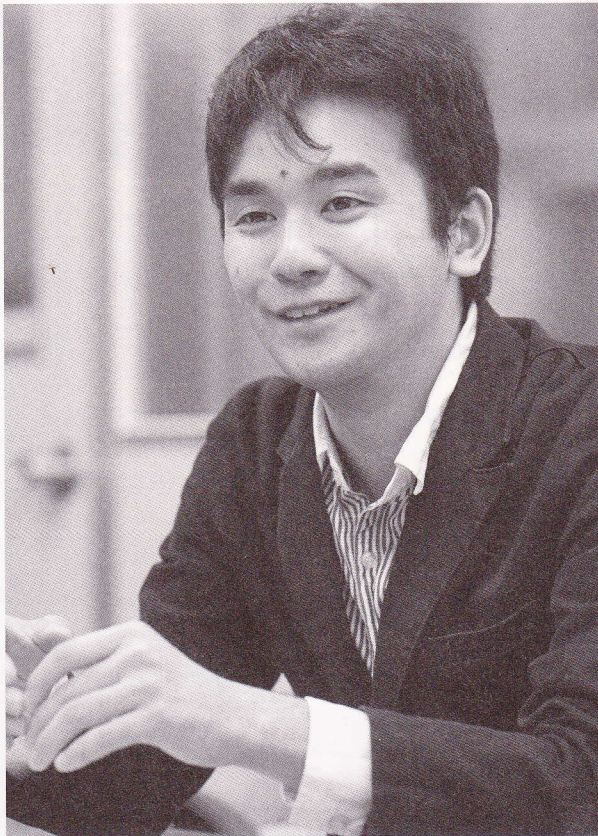
作曲家・シンガーソングライター
ゆげ田健介さん
弓削田健介さん

●1982年福岡市生まれ。小学校教諭を目指して佐賀大学へ入学。大学での音楽との出会いが大きな転機となり、大学院を卒業後は音楽の道へ。佐賀を拠点に作曲活動と、ギター・ピアノ弾き語りの演奏活動を行う。佐賀市在住。

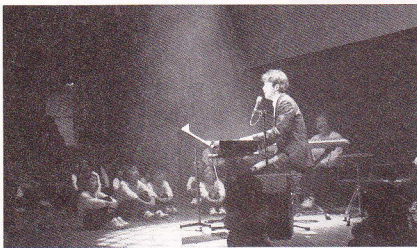
大学で専攻した音楽が大きな転機に

もともと小学校の先生になりたくて、佐賀大学に入ったんですが、1年生の時に何か一つ得意技を身につけて卒業するように言われ、音楽課程を選択しました。ギターやピアノを弾きながら、子どもたちと一緒に歌う先生になりたいという軽い気持ちだったんですが、実は音楽を専門的にやってきたような人が集まるコースで、かなり苦労しました。一度は挫折したものの、先生からジャズ研究会に入ればピアノが弾けるようになるというアドバイスをいただき、研究会に入るなどして一生懸命やっているうちに、音楽の魅力にのめり込んでしまいました。

大学4年生のとき、自分で作った合唱曲を卒業演奏会で披露したんですが、みんなで歌うことの素晴らしさに感動し、卒業後は大学院で作曲を専攻。小学校の先生になる夢が、子どもたちが喜んで歌ってくれる合唱曲を作ることに方向転換してきました。もちろん、学校の先生をしながら、曲を作るといふ道もありましたが、音楽



弓削田健介さん



佐世保はたて児童合唱団との演奏会



クリスマス会にて演奏



『いのちのまつりの歌とおはなし』幼稚園にて

に専念したかったので、大学院の2年間で少しずつ準備をして、「音楽の仕事ならなんでもやるぞ」という気持ちで、音楽一本で生きていくことを選びました。

たくさんの人と出会った『いのちの講演会』

現在の仕事は、作曲活動と演奏活動がメインで、作曲は大学時代から書き始めた合唱曲をはじめ、CM音楽や映像音楽、子どもミュージカルの曲を作っています。演奏は、カフェや病院、結婚式場、学校、幼稚園から老人ホームまで、さまざまな場所で、ギターやピアノで弾き語りをしています。

当初は、音楽でやっていけるか不安もありましたが、「いのちのまつり」という絵本のテーマソングを作ったことで、大きく変わりました。「いのちのまつり」は、武雄市山内町の陶彩画家草場一壽さんの原作で、いのちの大切さや人とのつながりを伝える物語です。大学生の時、音楽ボランティアとして、ホスピスで演奏をしていたこともあり、いのちの尊さや大切な人を想う気持ちを大事にしながら音楽に携

※11月号「さがに生きる」で「九州花百景」と「九州の一本桜」の写真が入れ替わっていました。すみませんでした。お詫びして訂正します。

「ツインマーマンの夢コンサート」

■日時：毎月第3土曜日 PM6:30～8:00

■場所：佐賀市歴史民俗館

旧古賀銀行内「浪漫座」

Tel.0952-24-4883

Fax.0952-22-6849



【21年春に城南中学校を卒業した皆さんへ】
皆さんが、大切な人へ書いた「手紙」をもとに作詞作曲をした「君へ」を収録したCDができました。卒業アルバムを持って「浪漫座」に来ていただければ、CDをプレゼントします。(2010年3月末日まで)

わつてきたので、作曲の依頼を受けたときは嬉しかったし、運命だと思いましたがね。

作者の草場さんと、絵本を朗読する副田ひろみさんの3人で「いのちの講演会」を全国各地で開くことで、いろんな人と出会うことができました。出会った人たちから作曲や演奏の仕事をいただいたり、少しずつですが佐賀だけでなく県外の学校でも自分が作った合唱曲を歌ってもらえるようになってきました。

佐賀の演奏家が集まる「ツインマーマンの夢」

いろんな場所で演奏活動していますが、ホームグラウンドともいえるのが、佐賀市歴史民俗館の旧古賀銀行内にある「浪漫座」です。ここでは、毎月1回、第3土曜日に佐賀の演奏家たちが集まって「ツインマーマンの夢」というコンサートを開いています。

ツインマーマンとは、1730年代ドイツにあったカフェの名前で、週末になると若手演奏家が集まって演奏し、それを聞きにきた芸術家たちの交流から新しい文化が生まれたといえます。それを仕切っていたのが、あの有名なバツハでした。そんな店を佐賀にもつくって、「佐賀から世界に羽ばたくミュージシャンを育てたい」というのが浪漫座のマスターの夢で、その思いから開かれているのが「ツインマーマンの夢」です。

出演するのは毎回4組で、私が作曲と歌の指導をしているティーンズミ



佐賀大学 教育学研究課 音楽教育分野専修 卒業演奏会にて (2007年2月)

ュージカルSAGAの子どもたちもいれば、合唱団やクラシックピアノ演奏、ギターの弾き語りなど、ジャンルの垣根を越えた演奏家たちが登場します。

出演者はすべてボランティアなので、料金が300円というのも魅力です。毎月100人くらいのお客さんに来てもらっていますが、まだまだ宣伝不

足。出演者がわからなくても、ここに来たらいい音楽に出会えるというような空間にしたいですね。

心に響く、言葉を大切にしたい合唱曲

自分にとっての一番の夢は、子どもたちが喜んで歌ってくれる合唱曲を作ること。オリジナルの曲は、130曲くらいありますが、そのうち合唱曲は50曲くらい。まだまだ歌われていない曲があるので、ぜひ歌ってほしいですね。もちろん、無名の作曲家ですから、「こんな歌がありますから、良かったら合唱で歌ってください」とお願いに行くことでもあります。依頼があれば、合唱の指導にも行っていますが、子どもたちから「感動しました!」とか、曲に対するお礼の手紙をもらったときは本当に嬉しいです。

合唱曲は、子どもたちが歌いやすいリズムや和音を心掛けて曲をつくっていますが、やはり一番大切にしているのは言葉です。童謡のように、言葉を聞いただけで情景が浮かぶような作詞をしていて、絵本を読んでイメージを膨らますこともあります。煮詰まったときは、家の裏の田んぼを散歩して気分転換をするんですが、佐賀の広い空を見るたびに佐賀っていいなあと思いますし、佐賀で出会った人たちとのつながりは、自分にとって大切な宝物です。

ご依頼があれば、結婚式などといったホームパーティーでも演奏しますし、地域の合唱団の指導なども行っていますので、お気軽にご相談ください。

(インタビュー：田中／文責・福地)